



すぎやま ひろし

杉山 裕 教授

一橋大学大学院経済学研究科博士課程修了
博士(経済学・一橋大学)

専門分野 日本経済史・日本経営史・労使関係論、労務管理論

Q1

担当科目を
教えてください。

日本経済論 I

日本経済に関わる理論と現状を総合的に学ぶ科目です。経済学の基礎的な理論を紹介し、それが現在の日本経済にどのように関わっているか解説しています。アメリカ大統領選挙やコロナ問題などの最新の経済事情についても頻繁に取り上げています。

日本経営史

経営学の基本的な知識を学んだ後に、渋沢栄一や松下幸之助など明治維新以降の日本の代表的な企業家とその経営手法について学びます。皆さんにとっては、ビジネスにおける経営学的な側面を理解し、経済学との違いを考える貴重な機会となるでしょう。

演習(ゼミナール): 日本と世界の最新経済事情を学ぶ

日本と世界の最新経済事情について「大学生らしい方法」で深く学習しています。具体的には、チームでプレゼンテーションをする、ゼミのメンバーと集団討論するなどです。経済学部主催のチーム対抗プレゼンテーション大会にも参加します。

Q2

研究のテーマは
何ですか？

戦前期日本の製糖業における労働市場の分析

戦前期の日本の製糖業大企業を対象に、「企業はどのように従業員を管理していたのか」を研究しています。具体的には、会社の人事記録を用いて、賃金をどのようなルールで支払うか、どのようなルールで従業員を昇給・昇進させるかなどを調べています。

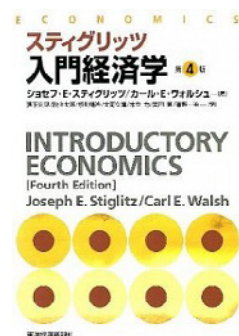
わたしのおすすめ本

スティグリッツ 入門経済学

著 者 ジョセフ・E. スティグリッツ/カール・E. ウォルシュ著・藪下史郎他訳
出版社 東洋経済新報社

出 版 2012年
ISBN 978-4-492-31419-7

経済学の基本的な考え方を具体的な例を用いつつ、わかりやすく解説しています。数式は出てきませんし、経済学を学ぶ入門書として非常にお勧めの本です。



Q3

研究者って
どんな仕事ですか？

研究者は仕事の進め方を自分で決められるので、一般的なサラリーマンよりも自由度が高い点は魅力です。ただし、自分を厳しく律して研究を続けたいといけません。また、研究結果について責任を一人で引き受けなければならないなど、孤独な職業だといえます。

Q&A
先生ってどんな人？

リフレッシュしたいときには何をしていますか？

料理をします。ただ最近は年のせいで億劫になってきました。

どのような大学生活を過ごしていましたか？

「ガテン系(死語?)」のアルバイトに明け暮れていました。大学については、演習に熱心に参加していました。

大阪産業大学キャンパスや大学
周辺でおすすめのスポットは？

16号館(中央キャンパス)2階の「ふじカツ」はコストパフォーマンスが良いので気に入っています。

先生の1枚



通勤の関係でよく利用していた近鉄瓢箪山駅の商店街です。関東で生まれ育った私にとっては、大阪の商店街の賑わいは「良いものだなぁ」と感じます。なお、この写真は朝に撮影したものなので、寂しい雰囲気になっています。

大学時代に作った人間関係は、卒業後も長きにわたって続くことが多いです。部活やサークル、ゼミでの勉強などに積極的に参加しましょう。なお、経済学は「日々の生活でも使える」学問だと思っています。皆さんも大学でしっかり勉強すると、後々良いことが沢山あると思いますよ。

学生みなさんへ
ひとこと